

サクラソウのサバイバル

① 乾燥化からのサバイバル

サクラソウは湿った土地を好みます。しかし荒川が治水対策により、流れが真直ぐになり、排水が良くなりました。また川の水が用水や水道水に利用されるようになって、田舎の原。すくすくは鴨川も川幅を狭くして水が干上がっています。

乾燥との戦いは困難です。散水やより湿った奥駈地での研究が必要で進められています。



サクラソウ 桔草 サクラソウ科
湿地に自生する多年草。赤い花が好き。4月上旬にピンク色の花を咲かせる。7月には葉が赤く休眠する。準絶滅危惧種

② 暑さからのサバイバル

サクラソウは涼しい所を好み、夏の暑さは苦手です。サクラソウは7月には葉が赤れ、その後土の中で過冬します。しかし地面が熱くなるにつれて土が乾燥し、夏の間はヨシや藨草などは守られる奥駈地があります。その涼しい所を自生地として生きてきました。

③ 春に日光に当たるためのサバイバル

サクラソウは早春に芽をだします。しかし、地面もヨシの根葉に覆われていて、サクラソウには日光が当たらず成長することができません。昔は、藨草の腐葉土にヨシやカヤを使っていて、冬の間は人々によってヨシを取り取られていました。今は、自生地では草焼きによってヨシが焼かれています。

④ 開拓からのサバイバル

荒川沿いは多くのサクラソウ自生地がなくなりましたが、道端や開拓で消滅していきませんでした。田舎の原では、地域の人の努力により、1920年に自生地が天然記念物に、1952年には特別天然記念物に指定されました。こうして、戦中戦後の食料不足による耕地化や経済成長期への開拓からも守られてきました。その後、2003年には23万7千株に増えましたが、2014年には100万7千株を下回り、2020年には47万株まで減っています。2023年は55万株と回復しています。

サクラソウ自生地の植物

- サクラソウ 準絶滅危惧種
- ワルシ 絶滅危惧Ⅱ類
- アマナ 準絶滅危惧種
- ヒキノカサ 絶滅危惧Ⅱ類
- レンリソウ 絶滅危惧種
- チヨウジソウ 準絶滅危惧種
- トクサゲ 絶滅危惧ⅠA類
- ヒロハバヤスリ 絶滅危惧Ⅱ類
- トモエソウ オドシコソウ
- アマドコロ アリヤケスミ
- コハヤボウシ

初夏に花を咲かせる
3月下旬に咲く
4月に咲く
5月上旬に咲く
5月上旬に咲く
牧野園芸部で育てて見せ場
3/20(月)開

堤防の植物

- カシウツクサ
- カラスエントウ
- スズメエントウ
- カラスムギ
- ギンギン
- ズイ
- シロツメクサ
- アカツメクサ
- ホトトギス
- ヒメオドリコソウ
- ヘラオオバコ
- ヒガンバナ
- セイヨウカタシ
- ヨモギ

植生帯

- サクラソウを散らす
- 昔河原に木が多い

この辺りは、荒川が蛇行していた頃は、荒川の右岸(右打岸)でした。その名残りで、今も朝霞市にはなっています。

横堤防は、荒川独特の治水で、洪水の時に、流れをおだやかにするためにつくられました。

サクラソウのサバイバル

2024年4月7日、13日調査 小川 浩

田舎の原サクラソウ自生地は人々の努力で保全されています。サクラソウにとって、全体的にサバイバル。里山の自然は人の手から守らなければ、その活動と歴史の痕跡に失われてしまいます。

翼を広げると1.5mくらいになる大型の鳥。若年期的には、人の食み残したものを食べるほど判別が、羽を広げて気流を受けて飛ぶ。

トビ 鷹 タカ科



翼を広げると1.5mくらいになる大型の鳥。若年期的には、人の食み残したものを食べるほど判別が、羽を広げて気流を受けて飛ぶ。